

# 乾燥に強くて丈夫。しかも花がら摘みが不要!

## < 植物名 >

ニチニチソウ(総称)  
ピンカ、ニチニチカ

## 水やり

幼苗の時には、十分に水やりをする。成株になったら、土の表面が乾いた頃に水を与える。

## 置き場所

日当たりと水はけが良ければ土質は選ばない。

## 用土肥料

多肥だと葉ばかりが茂ってしまう為、多く与えないように。

## 植え替え

特記事項なし。

## ふやし方

挿し木、種まき。種が隠れるように覆土する。

## 冬越し

冬越しは10 以上必要。

## 使い方 花壇、鉢植え

学名 Catharanthus roseus

英名

属名 ニチニチソウ

科名 キョウチクトウ

性状(分類) 一年草又は常緑低木

原産地 マダカスカル

花の色 ピンク・薄桃・白・紅紫など

開花期 4月～10月

購入時期

草丈 20～60 cm

ID 366

季節 春 夏 秋

JFコード 14376



## 冬越しと置き場所

日当たりと水はけが良ければ土質は選ばない。冬越しは10 以上必要。

## その他の解説

多肥だとかえって葉ばかりが茂り、花の数も少なくなってしまう。種は嫌光性なので、種が隠れるように丁寧に覆土する。

## 特徴1

花が次々に咲いて楽しませてくれる。苗が幼い時には十分に、成株になったら乾燥には強いので、土の表面が乾いた頃に水やりをする。

## 特徴2

属名は愛らしい花の姿にちなんで、ギリシア語の"純粋な-katharos"と"花-anthus"を元に付けられたそう。1つの花は数日で終わってしまうが、次から次へと咲く。咲き終わった花は自分から落ちてくれる為、花がら摘みが不要で手間がかからない。乾燥や大気汚染にも強く丈夫で、多くの園芸品種がある。広がるように咲くメディタレニアンや、葉が黄緑色のライムシャワーなど。常緑性 非耐寒性。